

小規模事業者 景気動向調査報告書

(令和3年4~6月期)

延岡商工会議所／中小企業相談所

延岡市中央通3丁目5-1

TEL 0982(33)6666

FAX 0982(33)6682

I. 実施概要

1. 調査対象事業所数	125事業所
2. 回答事業所数	63事業所
3. 回答率	50.4%
4. 業種別内訳	
製造業	10事業所
建設業	7事業所
卸売業	3事業所
小売業	30事業所
サービス業	13事業所
合計	63事業所

5. 実施時期

令和3年 6月から8月

6. 調査対象期間

令和3年 4月～6月（第1四半期）

7. 調査内容

調査対象期間である第1四半期について前年同期比、前期比、来期見通しの売上（受注）状況、採算（経常利益）、資金繰り、材料仕入価格、雇用（労働力）状況、設備投資計画、業況の各項目についての状況。

（D I 値の集計）

※ D I 値（景況判断指数）について

D I 値は、売上、採算、資金繰り、仕入価格、雇用状況、設備投資、業況の各項目についての判断の状況を表す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気、弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

$D I = (\text{増加・好転などの回答割合}) - (\text{減少・悪化などの回答割合})$

売上：（増加）－（減少）

採算：（好転）－（悪化）

資金繰り：（好転）－（悪化）

仕入価格：（低下）－（上昇）

従業員：（不足）－（過剰）

設備投資：（拡大）－（縮小）

業況：（好転）－（悪化）

8. 調査方法

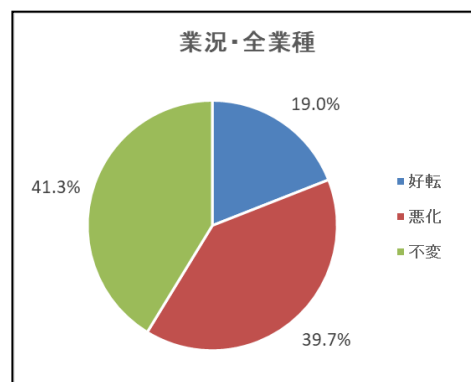
調査対象事業所に対して、調査票を郵送しファクシミリ及び電子メール等で回収、当所にて集計、分析を行う。

Ⅱ. 概況

1. 全業種の業況

全業種の業況判断として、前年同期比（令和2年4～6月）のD I値は▲20.6ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は19.0%、悪化したと回答した事業所が39.7%、変わらないと回答した事業所は41.3%だった。



令和2年4～6月の前年同期比については、主に製造業と建築業から売上回復・増加したという回答があったものの、新型コロナウイルス感染症の感染者数増加と5月の県内緊急事態宣言により、全体的に経営状況は厳しく、不変・悪化と回答した事業所が全体の8割を占めた。

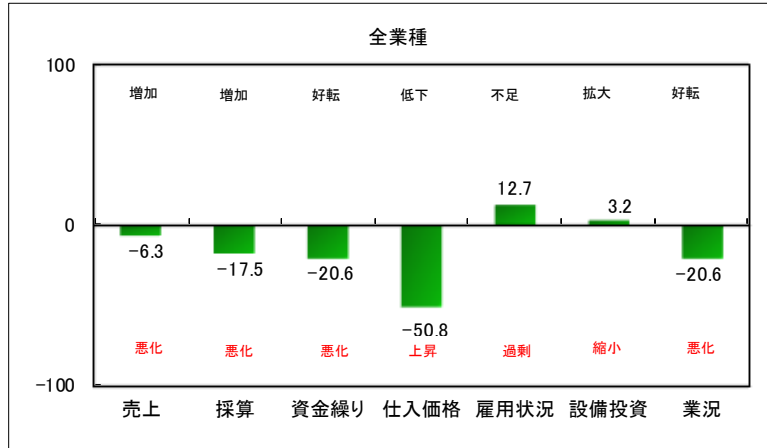
	R2. 4～6 前年同期比	R2. 1～3 前期比	R3. 7～9 見通し
全業種	▲20.6	▲17.5	▲34.9
製造業	30.0	50.0	30.0
建設業	14.3	▲14.3	▲14.3
卸売業	▲66.7	▲66.7	▲33.3
小売業	▲43.3	▲30.0	▲53.3
サービス業	▲15.4	▲30.8	▲53.8

来期見通し（令和3年7～9月）のD I値については、▲34.9ポイント。新型コロナウイルス感染症の感染拡大と8月の県内緊急事態宣言に伴い、悪化を懸念する声が多数あった。また、延岡市内では、ワクチン接種が進んでおり、経済活動の活性化と早期収束を期待する意見もあった。

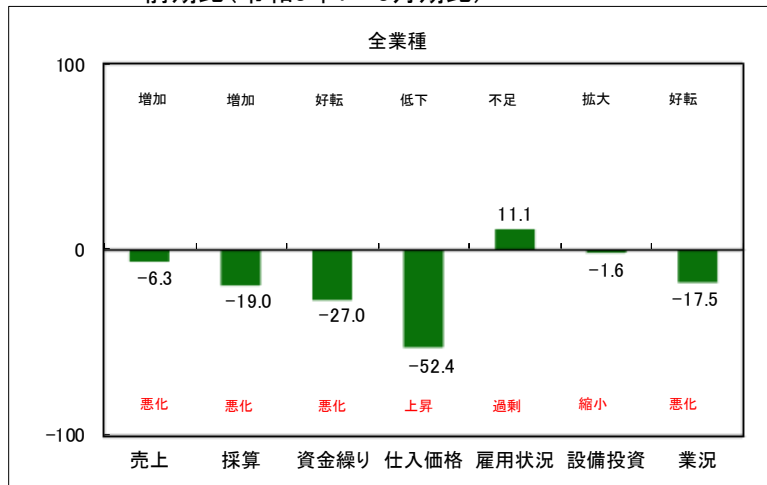
市内景気動向

全業種

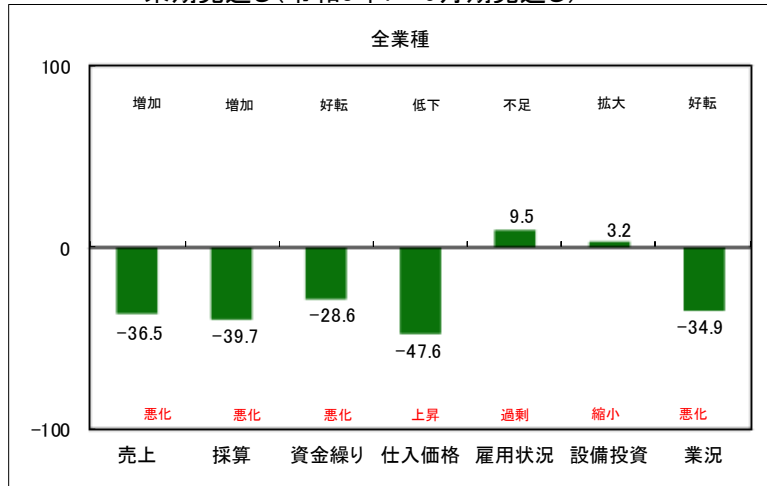
前年同期比(令和2年4~6月期比)



前期比(令和3年1~3月期比)



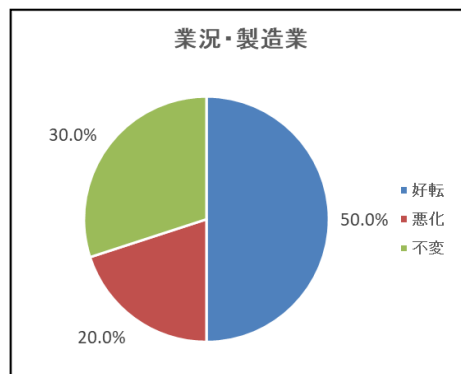
来期見通し(令和3年7~9月期見通し)



2. 業種別の概要

- ① 製造業の業況判断は、
前年同期比のD I 値が30.0ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は、
50.0%、
悪化したと回答した事業所が20.0%、
変わらないと回答した事業所が30.0%
だった。



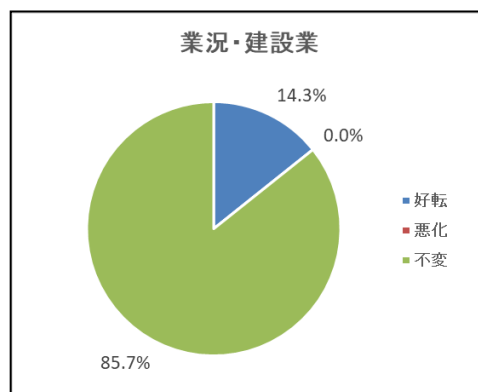
来期見通しD I 値は30.0ポイントで、好転の見通しとなっている。

○主な意見

- ・「3月頃より受注が急増しており、今年中は受注増が続きそうである。」
- ・「メイン顧客からの受注量が増加し、実際昨年同期に比べて、10~20%増加した。」
- ・「手持ち工事が数件残っており、この状況は以前と変わらない。ただし、人手不足により、これ以上の仕事を受注出来ない状況にある。」
- ・「設備投資を少しずつ拡大して、売上増加に繋げたい。」
- ・「受注量に変化はないが、製造品種に偏りが出たため、売上が減少した。」

- ② 建設業の業況判断は、
前年同期比のD I 値が14.3ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は14.3%、
悪化したと回答した事業所は0.0%、
変わらないと回答した事業所は85.7%だった。



来期見通しのD I 値は、▲14.3ポイントで、悪化する見通しとなっている。

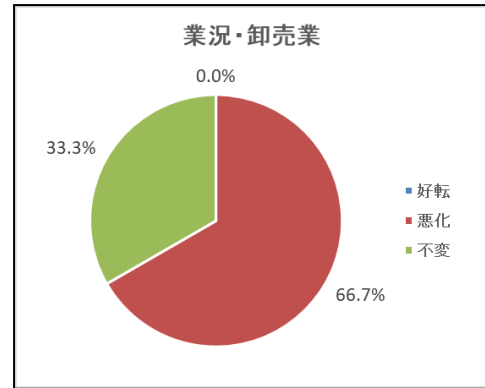
○主な意見

- ・「売上は増加したが、仕入価格の高騰で利益率が減少した。」
- ・「工事受注高の維持に努めた。」
- ・「今後の仕入価格の上昇と、県外同業者の進出により、価格競争が厳しくなると考える。」

③ 卸売業の業況判断は、
前年同期比のD I 値が▲66.7ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は0.0%、
悪化したと回答した事業所が66.7%、
変わらないと回答した事業所は33.3%だった。

来期の見通しD I 値は、▲33.3ポイントで、
悪化する見通しとなっている。



○主な意見

「官公庁工事の受注により、売上・採算共に上昇。」

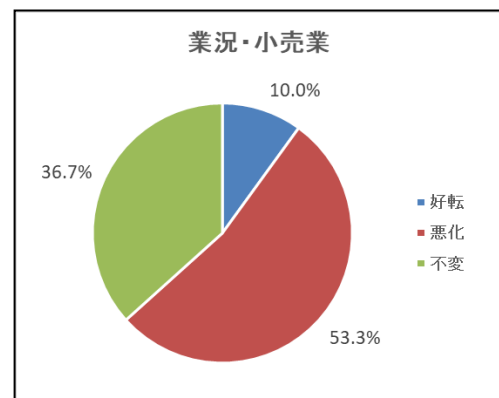
「新型コロナウイルス感染症の影響による営業時間短縮による影響があると感じる。」

「閑散期になるので、売上が悪化した。」

④ 小売業の業況判断は、
前年同期比のD I 値が▲43.3ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は10.0%、
悪化したと回答した事業所は53.3%、
変わらないと回答した事業所は36.7%だった。

来期の見通しD I 値は、▲53.3ポイントで、
悪化の見通しとなっている。



○主な意見

・「数的にはかろうじて増加した、コロナ前と比較すると満足できるものではなかった。」

・「売上は微増であったが、材料等の値上げにより現状厳しい。」

・「コロナの外出自粛ムードが続いて、消費者の購買意欲が今一つ盛り上がりきらない。」

・「新たに不動産貸付業務を始めたので、今後利益は出ると見込む。」

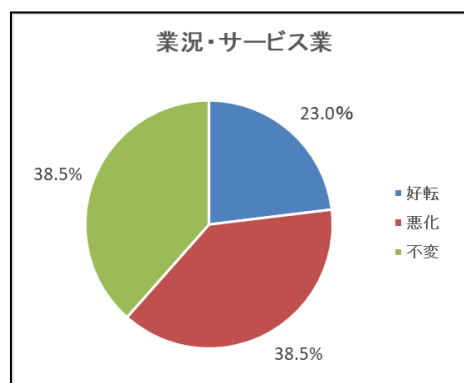
・「イベントが中止となり、販促イベントが少ない為、売上も減少した。」

・「ワクチン普及効果で、今までの買い控えが一転して、購買意欲が高まるのを期待したい。」

⑤ サービス業の業況判断は、
前年同期比のD I 値が▲15.4ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は23.0%、
悪化したと回答した事業所は38.5%、
変わらないと回答した事業所は38.5%だった。

来期見通しD I 値は、▲53.8ポイントで、悪化する
見通しとなっている。



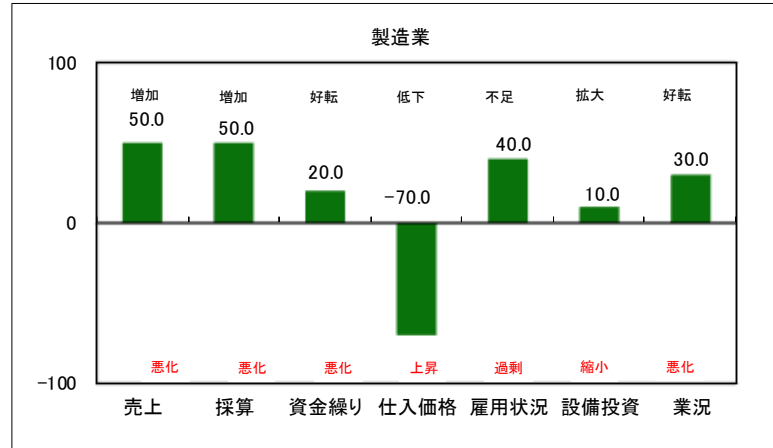
主な意見

- ・「ワクチン接種による行動の変化の伴い、サービス事業の需要が高まると予想する。」
- ・「最低賃金も上がり、さらに悪化しないか不安がある。」
- ・「新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、外に出る機会が少なくなった事で、衣服に関する意識・消費が下がってきた。」
- ・「コロナ感染拡大による自粛で乗用車が動かないので、事故、故障が少なく、修理メンテナンスの需要が落ちた。」

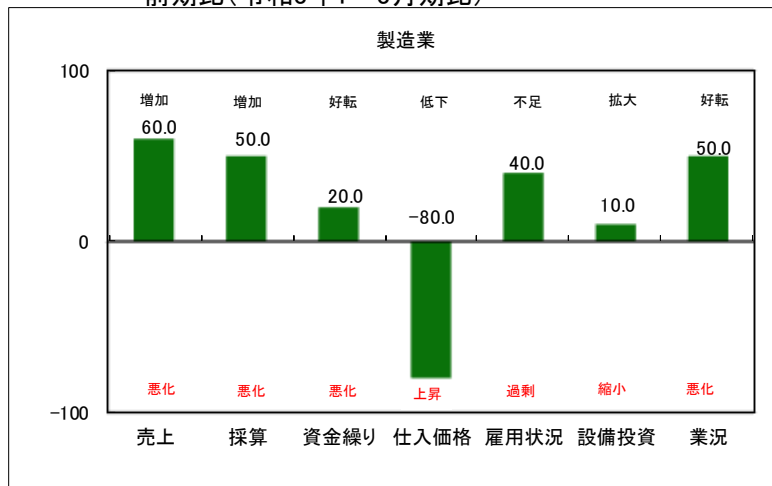
業種別景気動向

製造業

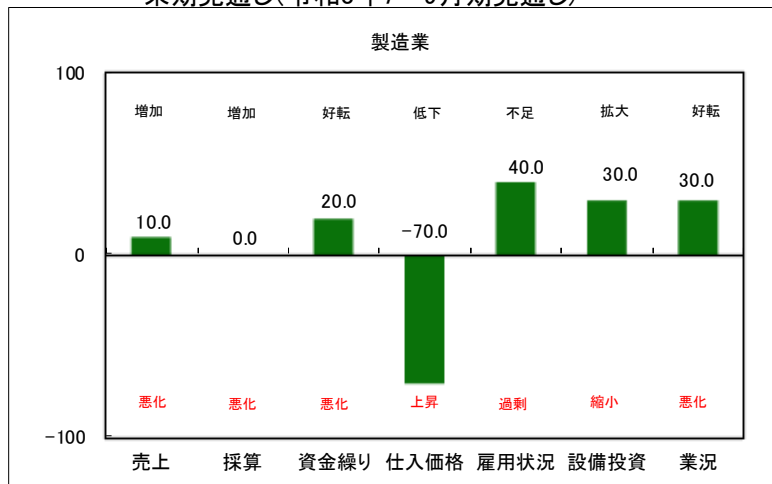
前年同期比(令和2年4～6月期比)



前期比(令和3年1～3月期比)



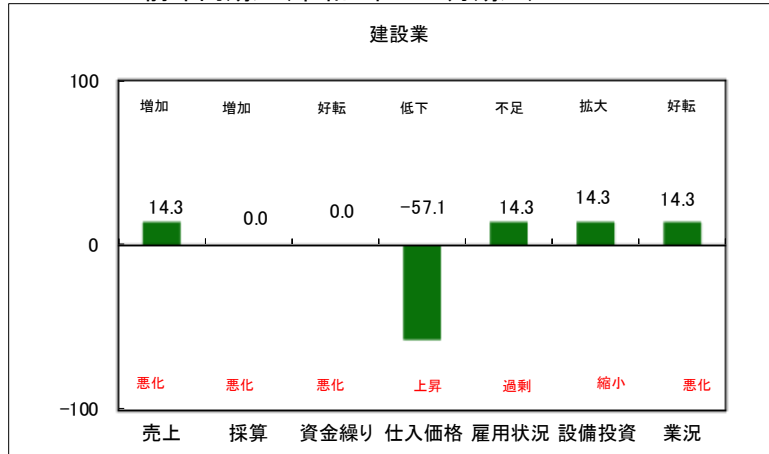
来期見通し(令和3年7～9月期見通し)



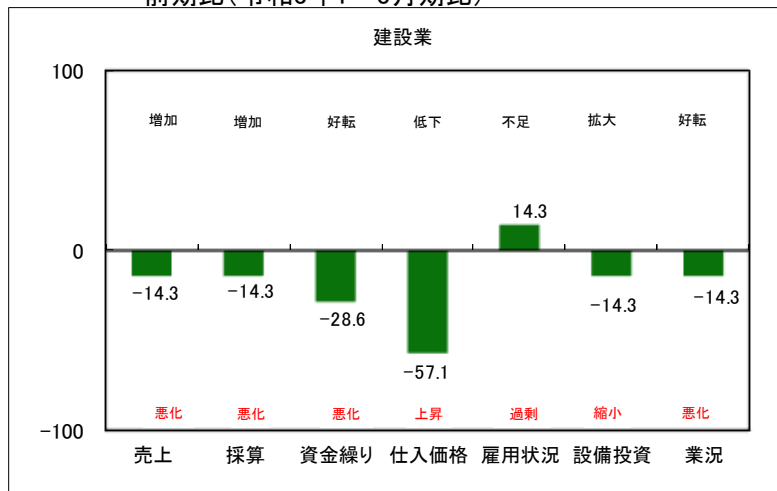
業種別景気動向

建設業

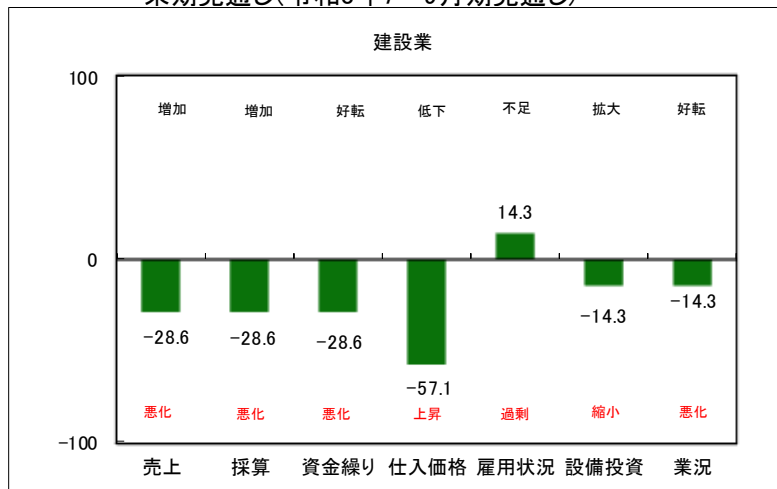
前年同期比(令和2年4~6月期比)



前期比(令和3年1~3月期比)



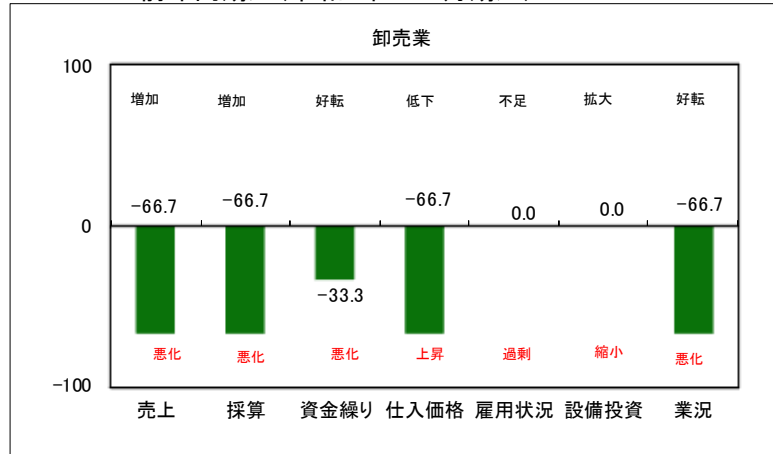
来期見通し(令和3年7~9月期見通し)



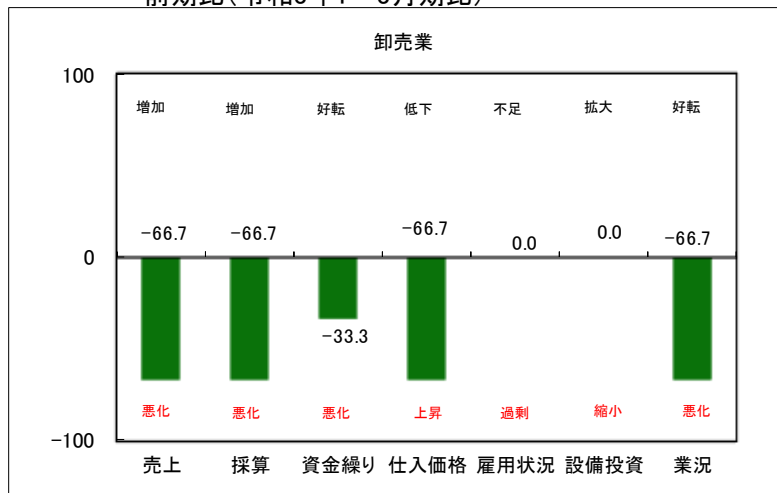
業種別景気動向

卸売業

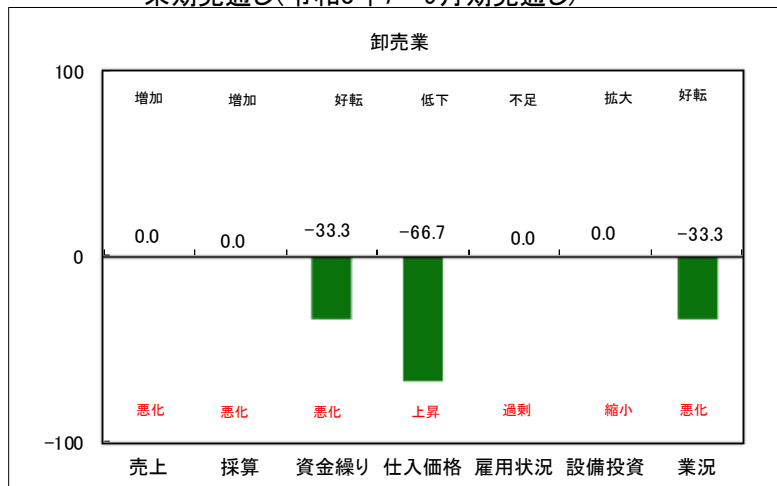
前年同期比(令和2年4~6月期比)



前期比(令和3年1~3月期比)



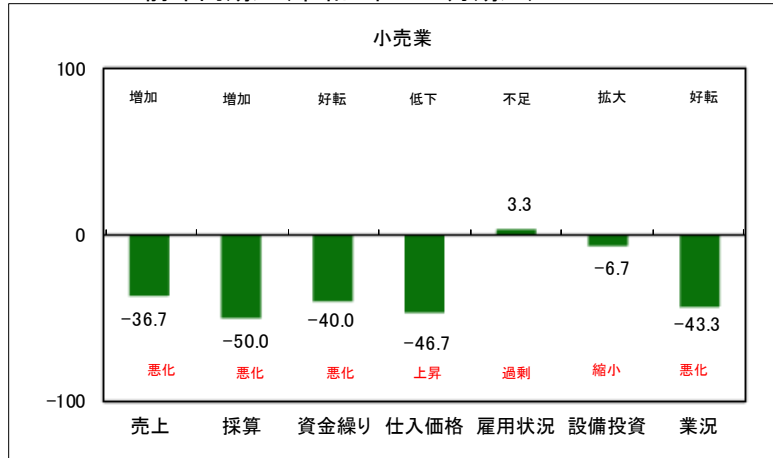
来期見通し(令和3年7~9月期見通し)



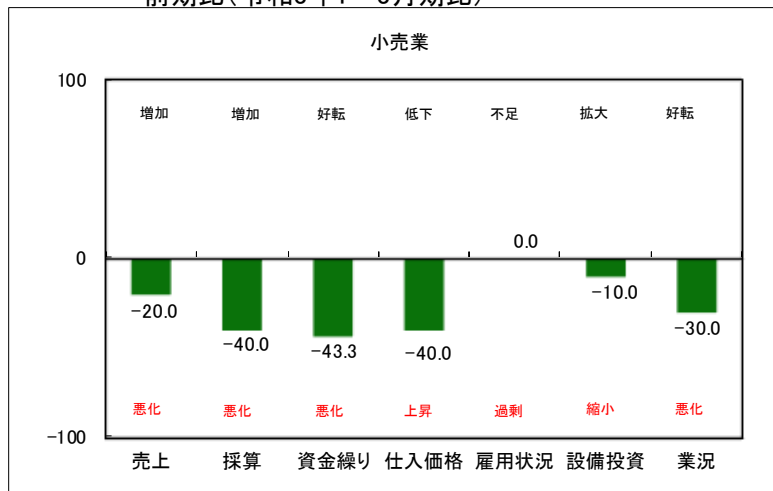
業種別景気動向

小売業

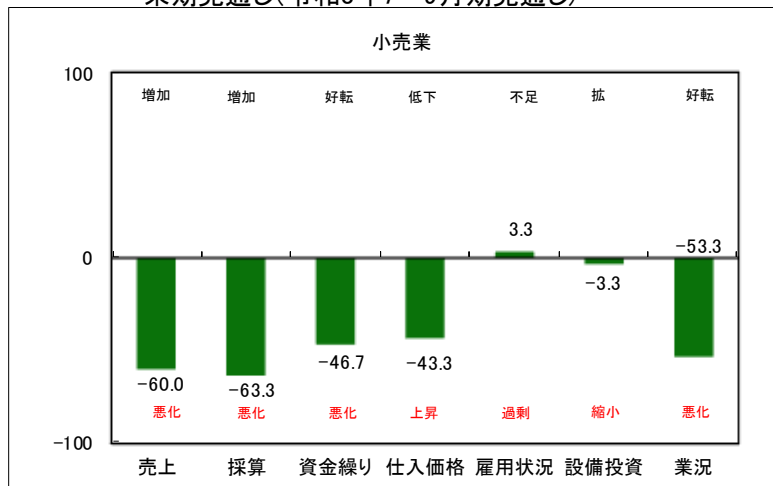
前年同期比(令和2年4~6月期比)



前期比(令和3年1~3月期比)



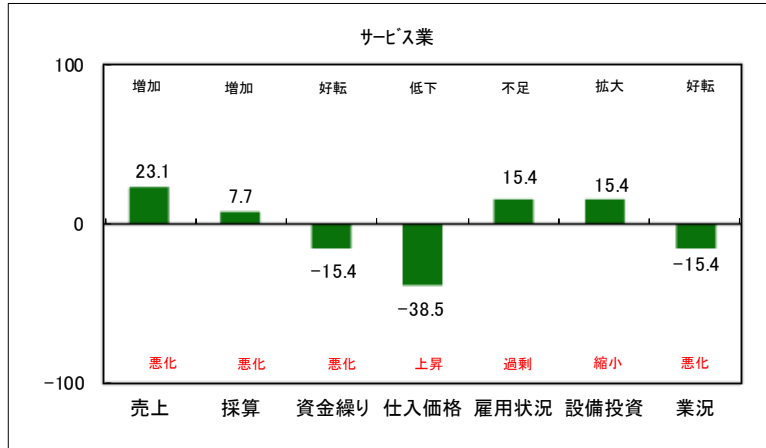
来期見通し(令和3年7~9月期見通し)



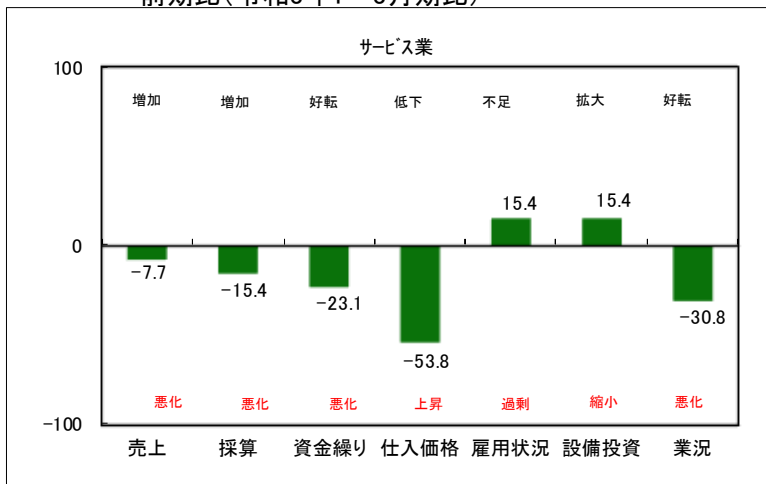
業種別景気動向

サービス業

前年同期比(令和2年4~6月期比)



前期比(令和3年1~3月期比)



来期見通し(令和3年7~9月期見通し)

